

2022/03/19 SAT[土] - 5/15 SUN[日]

東京都写真美術館 地下1階展示室

本城直季



TOP: small planet / Tokyo, Japan 2021 BOTTOM: small planet / Tokyo, Japan 2002 © Naoki Honjo



(un)real utopia

この世界にあなたがいる

開館時間：10:00 - 18:00 (木・金は20:00まで) ※入館は閉館時間30分前まで
休館日：毎週月曜日 (月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日休館)、ただし、5月2日(月)は開館

料金：一般 1,100円 / 学生 900円 / 中高生・65歳以上 550円

主催 --- 朝日新聞社、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

共催 --- 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

協賛 --- 株式会社サンエムカラー 協力 --- 株式会社フレームマン、nap gallery

※事業は諸般の事情により変更することがございます。最新情報は展覧会公式サイトなどでご確認ください。

TOP MUSEUM



令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト



(un)real utopia 本城直季

ほんじょうなおき

1978年東京都生まれ。2004年、東京工芸大学大学院芸術学研究科メディアアート専攻修了。「small planet」(リトルモア、2006年)で第32回木村伊兵衛写真賞を受賞。作品制作を続ける傍ら、ANA機内誌『翼の王国』で連載するなど、幅広く活動している。作品はメトロポリタン美術館やヒューストン美術館にパーマネントコレクションとして収蔵されている。

本城直季は、大判カメラの「アオリ」を利用して、都市の姿をジオラマのように撮影する独特の表現で知られる写真家です。生まれ育った場所や世界に不思議な違和感を覚え、この世界を知りたい、俯瞰したいという思いを原動力に、制作を続けてきたという本城。その作品はまるでミニチュアの世界のようで、私たちにこの世界の实在と虚構を問いかけると同時に、被写体である「まち」や「ひと」に対する、作家のあたたかく愛おしげなまなざしを感じさせます。

初の大規模個展となる本展では、木村伊兵衛写真賞を受賞した「small planet」シリーズをはじめ、独自の技法を生み出すまでの試行期の作品や、アフリカのサバンナを切り取った初公開シリーズ「kenya」、そして東日本大震災発生から3ヶ月後の東北を写した「tohoku 311」シリーズ、さらにはオリンピックイヤーの東京を被写体とした本展のための撮り下ろし作品など、未公開作を含む約200点を展示します。これまでの仕事を一挙にご紹介するこの機会に、写真家・本城直季の目を通して見る私たちの“まち”の不思議をぜひご堪能ください。

東京都写真美術館 TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3

恵比寿ガーデンプレイス内

TEL 03-3280-0099

<https://topmuseum.jp>

・JR 恵比寿駅 東口より徒歩約7分

・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

当館には専用の駐車場はございません。

お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

